

会 議 結 果 概 要

会 議 の 名 称	令和6年度 第1回 古河市障害者自立支援協議会
開 催 日 時	令和6年11月7日（木）午後2時00分～午後4時35分
開 催 場 所	古河市総和福祉センター「健康の駅」2階 視聴覚室1・2
出 席 者	（委 員）阿久津会長、今井副会長、大関委員、大高委員、落合委員 和田委員、関委員、稲葉委員、秋山委員、大村委員、塩畑委員 大木委員、岡澤委員、楠委員、千野委員、赤荻委員、金城委員 岡安委員 計18名 欠席：生沼委員 1名 （事務局）安田部長、小野里課長、塚原副参事、高橋課長補佐、伊藤課長補佐 吉原課長補佐、市川係長、中山係長 杉野所長、石田係長、奥園（基幹相談支援センター） 計11名 （その他）筑波大学生 2名
議 題	次第1 開会 次第2 委嘱状交付（近藤副市長） あいさつ （近藤副市長） 次第3 古河市障害者自立支援協議会について 次第4 会長・副会長の選出 会長に阿久津委員、承認 副会長に今井委員、承認 次第5 議事 議事1 専門部会活動報告 ・障がい児支援専門部会 ・障がい者相談・就労支援専門部会 ・障がい者にやさしいまちづくり専門部会 議事2 日中サービス支援型指定共同生活援助事業評価について 議事3 古河市地域生活支援拠点【こが・サポ】運営状況について 議事4 障がい者の生涯学習について 議事5 「このこの」の子どもたちの暮らしを通して見つめた能登半島地震について 議事6 その他 次第6 閉会
審 議 の 内 容	議事1 専門部会報告 【障がい児支援専門部会】（秋山委員） ・7月に第1回部会開催。現状の課題整理と進捗状況について、グループワークを行う。現状古河市で、何ができていて、何ができていないのかをテーマに話し合いを行った。 ・医療的ケア児の兄弟児支援として、市イベントで、医療的ケア児の休憩室を

委員と行政の協働で実施。(古河関東ド・マンナカ祭り)

- ・本部会終了後、医療的ケア児に関わる委員により、医療的ケア児支援のための協議を開催し、幼保における医療的ケア児の受け入れをテーマに協議を行った。

【障がい者相談・就労支援専門部会】(事務局)

- ・第1回部会を9月18日に開催し、はたらくガイドブックの改訂と優先調達パンフレットの作成について
- ・障害者雇用に関する見学会について

【障がい者にやさしいまちづくり専門部会】(大村委員)

- ・まちづくり部会として、特に重点的に取り組む内容として、障がい者の移動交通に係るマップの作製について検討している。

(委員からの主な要望や質問、意見)

特になし。

議事2 日中サービス支援型指定共同生活援助事業評価について

(事務局説明)

- ・今年度から、自立支援協議会で日中サービス支援型指定共同生活援助事業評価を実施する。対象事業所は現在4事業所(ソーシャルインクルー古河中田・古河仁連、ふわふわ旭町・西牛谷)
- ・事業所から事前に評価シートを事務局に提出し、委員に事前に配布し、事前審査をしていただき、協議時間の短縮を図る。

(委員からの主な要望や質問、意見)

- ・1事業所、約20分程度かかるが、次回の協議会で全て行うのか。

(金城委員)

→次回、協議会で4事業所を行う予定。なるべく時間を詰めて実施したい。

(事務局)

- ・(株)恵については行政指導されているが、古河市の利用者の今後の対応は。

(今井副委員長)

→利用者への聞き取りは行っている。現在のところ、利用継続を全員希望している。(事務局)

- ・今後、事業所が増えてくると、協議会での評価が厳しくなるので、新たに部会を立ち上げて、評価していくことも必要。(大村委員)

- ・説明する方によって説明する内容が違ってくるのでは。(秋山委員)

→内容がわかる人に出席を求めます。(事務局)

- ・質の向上と運営状況を確認するには？（赤荻委員）
- 毎年実施するので、継続的に運営状況を確認していく。また市ホームページに公表していきたい。（事務局）

議事３ 古河市地域生活支援拠点【こが・サポ】運営状況について

（事務局説明）

- ・古河市地域生活支援拠点【こが・サポ】整備経過について
- ・事業開始後からの取組み状況（令和５年度、６年度）
- ・登録事業所について
- ・令和６年度、緊急対応ケース報告

（委員からの主な要望や質問、意見）

- ・緊急対応は児童にも対応できるのか。（金城委員）
- 児童の緊急対応可能な事業所は少ない状況であるが、児童だからといって対応しないわけではない。関係機関と連携をとりながら対応していきたい。（事務局）

- ・登録事業所の具体的な目標はあるのか。（和田委員）
- 市内全事業所に協力（登録）していただけること目指している。（事務局）

- ・休日、夜間の対応は？（赤荻委員）
- 休日、夜間に関しては、基幹相談支援センターで対応。但し、夜間時の送迎については、民間の福祉タクシー等の利用も検討していきたい。（事務局）

- ・緊急時の連絡手段については、障がいのある方は理解しているのか。（赤荻委員）
- サービスを利用している方は相談員や家族を通して連絡。サービスを利用していない方は古河市が窓口となる。（事務局）

- ・拠点整備は１００％がなく、新たな体制が必要な時は随時検討していくことが必要。福祉サービスを利用されている方は相談員と緊急時の備えを考えていただきたい。サービスを利用されていない方については、拠点の機能を活用してもらいたい。（大村委員）

議事４ 障がい者の生涯学習について

（塩畑委員説明）

- ・特別支援学校卒業後の障がい者の生涯学習に関する現状と課題

	・障がい者の生涯学習を担う人材育成の在り方について ・生涯学習に向けての関係機関に期待される取組について (委員からの主な要望や質問、意見) ・特別支援学校卒業後、地域との関わりが必要であるが、学校側はどう感じているのか。(大高委員) →地域との交流の必要性はある。日頃から、社会生活へ向けた学習、教育を実施している。コミュニティスクールが来年からスタートし、地域の方々が校内に足を運んでくれることを期待している。(塩畑委員) ・障がいのある方が一生涯学習できるよう、特別支援学校だけではない機関にも求められていることが共通認識できた。障がいのある人へ学びへのサポート、助言などあるか？(大村委員) →境特別支援学校では、専任コーディネーターが2名配属されており、小中学校への巡回相談や研修会へ参加している。地域との連携を広めていきたい。(塩畑委員) ・今の子どもたちには、進路について希望がないのか。希望をいえない理由があるのか。 進路はどのように決めているのか。(赤荻委員) →困っていることを困っているという気持ちにならず、自ら発信することができない。進路については、実習などを通して、保護者と話し合いながら決めている。(塩畑委員) 議事5 「このこの」の子どもたちの暮らしを通して見つめた能登半島地震について (大木委員説明) ・震災がもたらす子どもの暮らしへの影響 ・能登半島地震を経験した家族の声 ・震災における支援の視点 ・課題と今後の取組み (委員からの主な要望や質問、意見) なし。 議事6 その他 ・次回開催：令和7年2月20日(木)
問 合 せ 先 (事務局)	古河市役所 福祉部 障がい福祉課 TEL 0280-92-4919
備 考	